

獨協医科大学病院だより

— Dokkyo Medical University Hospital News —



顔認証付きカードリーダー（総合受付）

医療情報・システム基盤整備体制 充実加算についてお知らせ

当院はオンライン資格確認を行う体制を有する医療情報・システム基盤整備体制充実加算の算定医療機関です。

当院では診療情報（受診歴、薬剤情報、特定健診情報その他必要な診療情報）を取得・活用することにより、質の高い医療の提供に努めています。正確な情報を取得・活用するため、マイナ保険証の利用にご協力をお願いいたします。

- ◆医療情報・システム基盤整備体制充実加算
 - 加算1・4点（初診時）
 - 加算2・2点（マイナ保険証を利用した場合）

令和4年（2022年）

冬号



第51号

診療科紹介 小児外科

一般の方々には「小児外科」という診療科にあまりなじみがないかもしれません。読んで字の如くで「こどもの外科の病気を扱う診療科」です。ただし、頭や心臓・大血管、骨、手足の外科の病気は扱っていません。

こどもの外科の病気は生まれつきのもので多いですが、頻度は多くありませんので、専門に扱っている施設は東京・大阪などの大都市圏以外ではどの地域でも限られています。獨協医科大学病院小児外科（とちぎ子ども医療センター小児外科）は、2022年現在では栃木県内では2つしかない小児外科の常勤医のいる施設のうちの一つです（もう一つは自治医科大学とちぎ子ども医療センター内にあります）。

そのため、大学病院ではありますが比較的なじみのあるこどもの外科の病気である、脱腸（そけいヘルニア）、盲腸（急性虫垂炎）、おへそが出ている（臍ヘルニア）、精巣が触れない（停留精巣）、乳児の肥厚性幽門狭窄症、腸重積症、肛門周囲膿瘍なども手術・処置しています。

もちろん、より高度な専門的な病気も扱っています。例えば、生まれたばかりの赤ちゃんにみられることがある消化管閉鎖（食道閉鎖症、腸閉鎖症、鎖肛）、消化管などが胸腔内や体外に脱出する病気（横隔膜ヘルニア、臍帯ヘルニア、腹壁破裂）、小さくお生まれになった赤ちゃんの腸閉塞や腸穿孔などは、当院のNICU（赤ちゃんのための集中治療室）の先生方と協力して治療・手術を行います。また、小児固形がんのお子さんの治療も当院小児科の血液腫瘍チームの先生方と協力して行います。神経芽腫、肝芽腫、ウィルムス腫瘍といった小児の3大固形腫瘍のほか、奇形腫、横紋筋肉腫なども診断確定のための組織採取や摘出手術を行うことがあります。また、白血病などに対して抗がん剤を投与するためのカテーテル挿入術を担当することもあります。

他にもヒルシュスプルング病・胆道閉鎖症・胆道拡張症などの消化器疾患、肺嚢胞性疾患・肺分画症・気胸などの呼吸器疾患、水腎症・膀胱尿管逆流症などの泌尿生殖器疾患、寝たきりのお子さんに必要なことがある胃瘻造設・胃食道逆流に対する逆流防止手術（噴門形成術）・気管切開・喉頭気管分離などにも対応可能です。

近年は、小児外科の分野でも創が小さく回復も早い鏡視下手術（胸腔鏡・腹腔鏡手術）が広まっており、当院ではそけいヘルニア、急性虫垂炎、肥厚性幽門狭窄症、鎖肛の一部、ヒルシュスプルング病、寝たきりのお子さんの胃食道逆流症に対する噴門形成術の多くは鏡視下手術で行っております。肺嚢胞性疾患、胆道拡張症などにも鏡視下手術を採用することもあります。鏡視下手術は高度な技術を要しますが、こどもの手術後の生涯のことも考えて、なるべく創が小さく侵襲が少ない鏡視下手術の適応を、安全性を担保しながら上げていく予定です。

当院のこども医療センターの小児科スタッフ、病棟スタッフはもちろん、関連各科の先生方や地域の小児科の先生方とも連携をとりつつ栃木県のこども達の外科医療の砦の一つとしての役割をこれまで同様しっかり果たしていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。



診療部長
鈴木 完

認定看護師紹介

小児救急看護認定看護師

センター棟 3階病棟 竹澤恵美子



1. 小児救急看護認定看護師の役割

少子高齢化、核家族化、子育て支援不足等子どもとその家族を取り巻く環境は大きく変化しています。子どもは大人と比べ急激に状態が悪化しやすく、自分の状態をことばで伝えることができないこともあります。子どもの身体状況を見極め緊急度の判断、育児不安や虐待への対応、家庭における初期対応指導、子どもの事故予防指導などの役割を担っています。また、子どもの権利を尊重し子どもの健全な成長発達のため、家族も含め支援していくことなどを目的とし活動しています。

小児救急看護認定看護師は全国に256名、栃木県では5名が各施設で活躍しています。

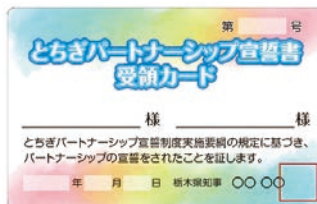
2. 主な活動内容

- 1) 小児の救急場面における子どもの症状・緊急度の評価と子どもや家族への関わり
子どもは意思表示が難しいことがありますので、子どもの小さな病状の変化に注目し、緊急性の有無や重症化する可能性を見極めて早期治療を開始できるように努めています。
- 2) 子どもの成長発達を考えた療養生活についての助言・院内外その他職種との連携
育児に不安のある場合の相談を受けたり、様々なケアを必要とするお子様が自宅で過ごすために必要なことをご家族と一緒に考えていきます。
- 3) 子どもの成長発達に応じた起こりやすい事故予防への関わり
けがで受診や入院された際に、同じようなけがを繰り返さないよう、安心して安全に自宅で過ごせるよう育児の工夫点等をご家族と一緒に考えていきます。
- 4) 子どもの虐待に対する予防、早期発見に関わる援助
医師、ソーシャルワーカー、病棟・外来の看護師、他施設等と連携を図り、子どもが安全安心に育つ環境をチームで対応していきます。
- 5) 看護師や看護学生、県内保健師等への講義
子どもの緊急時の状態の評価や虐待予防、子どもの救命救急処置などの相談を受け一緒に考えアドバイスをしたり、講義を行うなど小児看護の質の向上に努めています。

外来を受診されるお子さまから入院治療を必要とするお子さまを対象として看護を実践しています。子どもの権利擁護の視点を大切に、成長発達に応じた説明や子どもの反応に合わせた支援に努めています。また、きょうだいを含むご家族全体を捉え、子どもとご家族の安全・安心な生活に向け、多職種と連携し、チーム医療が円滑に進むようスタッフと協働し看護実践に努めています。

とちぎパートナーシップ宣誓制度 スタートに伴う当院の対応について

栃木県では、性的指向や性自認にかかわらず、誰もが自分らしく生きられる社会の実現に向けて、令和4年9月1日から「とちぎパートナーシップ宣誓制度」が導入されました。とちぎパートナーシップ宣誓制度とは、人生のパートナーとして協力し合うことを宣誓したお二人（一方又は双方が性的マイノリティ）に対して、県が宣誓書受領カード等を交付する制度です。



獨協医科大学病院での対応

当医療機関を受診された方やそのパートナーから宣誓書受領カードの提示があった場合、以下について、家族同様の対応をすることとしています。

- 1 入院時の面会許可
- 2 病状説明時の対応
- 3 手術等同意時の対応（ただし、家族（血縁者）との関係性も考慮する必要があるため個別対応）

パートナーシップ宣誓証明制度は婚姻制度と異なり、法律上の効果は生じませんが、性の多様性への配慮の観点から、宣誓書受領カードをお持ちの方に対し、可能な限り、家族同様の対応をいたします。また、個人情報（性的指向、性自認、カードを利用していること）は、本人の同意なく口外いたしません。

なお、独自にパートナーシップ宣誓制度を導入する市町が発行したパートナーシップ宣誓証明書（カード）の提示があった場合にも、同様の対応をいたします。

～病院へのお手紙に関するご回答～

病院の玄関を入ると、晴天で明るい陽射しが入っている日でも電気がつき無駄に思います。売店や売店近くのエレベーターの蛍光灯は1本おきでも良いのではないのでしょうか。人が常にいない場所や少ない所は節電するべきと思います。明るさを見て常に消す点けるなど調節できないのでしょうか。今はどこに行っても節電されています。病院内だけ節電していないように思います。

(回答)

貴重なご意見ありがとうございます。病院内の照明について見直しを行いました。また、天候や時間帯によって、都度明るさを調整します。

この冬の政府の節電要請により、支障のない範囲で節電に努めております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

看護師・薬剤師募集

当院では、看護師・薬剤師を募集しております。
採用試験等については、ホームページ採用情報の職員募集サイトをご覧ください。

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町北小林880

獨協医科大学病院 庶務課職員係

電話 0282-87-2038

E-mail shokuin-b@dokkyomed.ac.jp

(受付時間：月～土 8：30～17：00) *休日除く



獨協医科大学病院だより第51号

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地

TEL 0282-86-1111 (代表) FAX 0282-86-4775

当広報誌は当院ホームページよりご覧いただけます。

獨協医大病院 検索

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>

発行年月日 / 令和4年12月

発行・編集 / 獨協医科大学病院

印刷 / 株松井ピ・テ・オ・印刷